

琉球大学学術リポジトリ

舞踊の鑑賞構造に関する研究 2-2 : 意味微分法による

メタデータ	言語: 出版者: 琉球大学教育学部 公開日: 2014-11-20 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 金城, 光子, Kinjo, Mitsuko メールアドレス: 所属:
URL	http://hdl.handle.net/20.500.12000/29875

舞踊の鑑賞構造に関する研究〔Ⅱ-2〕

—意味微分法による—

金城光子

A Study of Cognitive Structure of Dance Appreciation〔Ⅱ-2〕

—With semantic differential method—

Mitsuko KINJO

※ Phys. Educ., Coll. of Edu., Univ. of the Ryukyus

The purpose of this study was to formulate a standardized and reproducible format for Dance Appreciation Patterns.

Forty-nine evaluators were asked to codify twenty different dances using a scale which contained forty gradations. Within each dance there were forty separate parameters considered. Thus, evaluation correlation for each gradation in the scale could be extracted from the total data (40 x 20 x 49) that had been collected.

The findings were analyzed by axial rotation according to the Varimax method, accordingly the scales were grouped in five dimensions. Each load factor was found to be over ± 0.5 . The single grade structure was indicated for the Appreciation Patterns from the first to the fifth dimension. The first dimension contains sixteen variations (Evaluation); the second dimension contains four (Dynamics); the third contains three (clarity); the fourth contains three (uniqueness); and the fifth contains two variations (Freshness). The twenty works have fixed positions in the three dimension dance space (E. D. C.) in which the relative relations of the works were investigated. In the first to the third dimension of gradation there were similarities in the final comparison of results, content and evaluation, dynamics and quality, using the D-method, distance was investigated. Next, using octant analysis the classification of the work was tested. Finally, a systematic group for each work was designed, based on the gradation average.

はじめに

S. K. ランガーは、その著「Feeling and Form」の中で、「舞踊に対する広汎に受けいられている見解⁽¹⁾」を次のように指摘している。

「舞踊の本質は、視覚的な音楽、絵画の連続、無言劇な

どとしているのは、舞踊が身体運動としての性格を認めているからであって、これらのことは、舞踊とは何かについての空想的理論である⁽²⁾」

舞踊は、人間感情の表現形式であるということに対して、「舞踊の支配しているのは、想像された感情であって、

現実の感情の状態ではない⁽³⁾とし、舞踊運動については、舞踊の身振りは現実の身振りではなく、虚の身振りであって、その運動は現実の運動であるけれども舞踊のなかだけの身振りであり、虚の自己表現⁽⁴⁾である」として、日常動作や、日常的感情の違いに触れている。

舞踊の本質は何かについて、舞踊のArtとしての根源的なもの、その表現形式としての「美」に対するexpression、その「美」を規定する要因となりうるとされるimpression、については、舞踊という概念の分析(質的、量的)によって規定しなければならないだろうと思われる。

舞踊の表現する諸動作・動きの「意味」と「美」とは何かについて考えるとき、舞踊の伝達性としての働き、社会的な価値、その芸術性としての性格について、また、舞踊の文化論、認識論におよぶ様々な疑問が生ずる。

これらの問題を考えつつ、本研究は、研究Ⅰ～Ⅱの序で述べたように、実験心理学的方法の概念を適用することによって、鑑賞者の視点としての感じ・印象を通して、舞踊の鑑賞価、舞踊の鑑賞構造の解明を目的とした研究である。

研究Ⅰ～Ⅱは、(本紀要に掲載)前回の研究Ⅰ(S.47.)と同様に、20個の作品別に各作品の鑑賞構造をとらえて、各次元に含まれた尺度群の内容を検討した。その結果は、各作品の第Ⅰ次元の内容の類似性と共通性がみられたこと、第Ⅱ次元以下においては、構造内容の共通的傾向を示しながらも作品個々を特徴づけるものと解されるという結果であった。

本研究では、前回の研究Ⅱ(S.47.)と同様な方法とデータ処理を行ない、鑑賞の因子構造を確かめ、舞踊鑑賞価の意味空間を確認することである。Osgood、芝、田中の方法を適用する。ここでは、作品をプールにした総合的データ処理を行なう。この方法によって、研究Ⅱでは、Vavimax 回転後得られた単純構造を求め、その結果得られた3つの尺度群の象徴的特徴にしたがって、東江との検討の結果次元命名をし、3個の意味次元、“Evaluation” “Dynamics” “clarity”を設定した。また、これらの意味空間上に作品を位置づけ、舞踊作品の比較を行なった。

Ⅱ 研究の方法と手続き

本研究の方法は、研究Ⅰ～Ⅱと同様にすすめた。

- (1) 調査の対象は、沖縄キリスト教短期大学女子学生 49人

- (2) 調査期間は、昭和48年1月実施した。

- (3) 尺度について

評定尺度は、前回の研究Ⅰ、Ⅱおよび、Ⅰ～Ⅱと同一のものである。

これは、40の形容語対からなるスケール表である。評定尺度は7段階尺度であるので、評定の範囲は1～7点で、1は非常に「おもしろい」を指し、7は非常に「つまらない」を表わす。(SAMPLE参照)

- (4) テスト用紙は、1枚につき1作品が評定できるように印刷し、20作品(20枚)を1組として記入例をつけて綴ったものである。

全被験者 800回(20×40)評定した。

- (5) 舞踊作品について

刺激対象(鑑賞対象)としての舞踊作品は研究Ⅰ～Ⅱと同一の20個である。

これは、1969年第6回国際女子体育会議、東京大会で、日本実行委員会が収録した、レクチャー・デモンストレーションとして演じた作品である。(Table1 舞踊作品参照)なお、作品は、S.47の研究Ⅰ、Ⅱ、Ⅵとの一連番号を付した。

- (6) データ処理の方法

まず、研究Ⅰ～Ⅱで、20個の作品を1個ずつ固定して与えてスケール表によって評定させた。評定後のデータは、作品別に尺度の平均値・標準偏差を求めた。この各作品の平均値をここでは作品個々の特徴を表わすものとして、これを基に、尺度の平均値・標準偏差を求め、尺度間相関行列を求め、これを基に芝らの方法によって、Varimax 回転により尺度のGroupingを行なった。(20作品×40尺度×49人マトリックス)

※計算は、東京大学大型計算機センターで行なった。

Ⅲ 結果と考察

[1] 舞踊の鑑賞構造について

1 鑑賞の単純構造

データについては、夫々第Ⅰ～第Ⅴ次元まで求められた。その結果は、Table 2に示す通りである。

(脚注) (1) S. K. ランガー; 「感情と形式」 大久保他訳 1970. P 261.

(2) “ ” “ ” PP 269. 270.

(3) (4) “ ” “ ” PP 274. 275.

SAMPLE

作品名 _____

No. 氏名 男女

今、見た舞踊の感じや印象を下記の尺度で評定しなさい。
 なお、尺度の下記の数字は、およそ次のような程度を表わします。

- 4……………中 性 (いずれともいえない)
 3と5……………い くら か (~である)
 2と6……………相 当 に (~である)
 1と7……………非 常 に (または極めて~である)

(記入例)
 よい $\overline{1\ 2\ 3\ 4\ 5\ 6\ 7}$

1 おもしろい $\overline{1\ 2\ 3\ 4\ 5\ 6\ 7}$	つまらない	21 動的な $\overline{1\ 2\ 3\ 4\ 5\ 6\ 7}$	静的な
2 新しい $\overline{1\ 2\ 3\ 4\ 5\ 6\ 7}$	古い	22 日本的な $\overline{1\ 2\ 3\ 4\ 5\ 6\ 7}$	西洋的な
3 美しい $\overline{1\ 2\ 3\ 4\ 5\ 6\ 7}$	みにくい	23 劇的な $\overline{1\ 2\ 3\ 4\ 5\ 6\ 7}$	劇的でない
4 楽しい $\overline{1\ 2\ 3\ 4\ 5\ 6\ 7}$	楽しくない	24 正統的な $\overline{1\ 2\ 3\ 4\ 5\ 6\ 7}$	正統的でない
5 むずかしい $\overline{1\ 2\ 3\ 4\ 5\ 6\ 7}$	やさしい	25 見応えがある $\overline{1\ 2\ 3\ 4\ 5\ 6\ 7}$	見応えがない
6 抽象的な $\overline{1\ 2\ 3\ 4\ 5\ 6\ 7}$	具体的な	26 鮮やかな $\overline{1\ 2\ 3\ 4\ 5\ 6\ 7}$	鮮やかでない
7 すぐれている $\overline{1\ 2\ 3\ 4\ 5\ 6\ 7}$	劣っている	27 緻密な $\overline{1\ 2\ 3\ 4\ 5\ 6\ 7}$	緻密でない
8 よい $\overline{1\ 2\ 3\ 4\ 5\ 6\ 7}$	よくない	28 変化がある $\overline{1\ 2\ 3\ 4\ 5\ 6\ 7}$	変化がない
9 効果的な $\overline{1\ 2\ 3\ 4\ 5\ 6\ 7}$	効果的でない	29 満足できる $\overline{1\ 2\ 3\ 4\ 5\ 6\ 7}$	満足できない
10 興味深い $\overline{1\ 2\ 3\ 4\ 5\ 6\ 7}$	興味がな	30 はなやかな $\overline{1\ 2\ 3\ 4\ 5\ 6\ 7}$	はなやかでない
11 印象深い $\overline{1\ 2\ 3\ 4\ 5\ 6\ 7}$	印象がうす	31 魅力がある $\overline{1\ 2\ 3\ 4\ 5\ 6\ 7}$	魅力がない
12 明確な $\overline{1\ 2\ 3\ 4\ 5\ 6\ 7}$	明確でない	32 特異な $\overline{1\ 2\ 3\ 4\ 5\ 6\ 7}$	特異でない
13 視覚的な $\overline{1\ 2\ 3\ 4\ 5\ 6\ 7}$	視覚的でない	33 軽快な $\overline{1\ 2\ 3\ 4\ 5\ 6\ 7}$	軽快でない
14 個性的な $\overline{1\ 2\ 3\ 4\ 5\ 6\ 7}$	個性がない	34 素直な $\overline{1\ 2\ 3\ 4\ 5\ 6\ 7}$	素直でない
15 うまい $\overline{1\ 2\ 3\ 4\ 5\ 6\ 7}$	へたな	35 一貫した $\overline{1\ 2\ 3\ 4\ 5\ 6\ 7}$	一貫していない
16 独特な $\overline{1\ 2\ 3\ 4\ 5\ 6\ 7}$	独特でない	36 さおやかな $\overline{1\ 2\ 3\ 4\ 5\ 6\ 7}$	さわやかでない
17 現代的な $\overline{1\ 2\ 3\ 4\ 5\ 6\ 7}$	古典的な	37 大きい $\overline{1\ 2\ 3\ 4\ 5\ 6\ 7}$	小さい
18 力強い $\overline{1\ 2\ 3\ 4\ 5\ 6\ 7}$	弱い	38 すっきりした $\overline{1\ 2\ 3\ 4\ 5\ 6\ 7}$	すっきりしない
19 まとまった $\overline{1\ 2\ 3\ 4\ 5\ 6\ 7}$	まとまりがない	39 明るい $\overline{1\ 2\ 3\ 4\ 5\ 6\ 7}$	暗い
20 はげしい $\overline{1\ 2\ 3\ 4\ 5\ 6\ 7}$	おだやかな	40 叙情的な $\overline{1\ 2\ 3\ 4\ 5\ 6\ 7}$	叙情的でない

Table 1 舞踊作品

作品名	国名	人数	長さ
① 愛国行進曲	日本	5	1分30秒
② 機械	〃	9	1' 45"
③ The Queen	フランス	2	8' 00"
④ A Big Town	〃	2	3' 10"
⑤ Sitting on a Bench	〃	〃	4' 30"
⑥ Prisoners of Darkness	〃	〃	4' 00"
⑦ Witch Dance	韓国	1	2' 45"
⑧ Mask Dance	〃	1	1' 35"
⑨ Sward Dance	〃	1	1' 45"
⑩ Kang-Kang-Su-wol-Lae	〃	8	3' 30"
⑪ Cultural Dance (ジャワの古典舞踊)	インドネシア	1	6' 40"
⑫ IGOROTO Dance	フィリッピン	5	2' 20"
⑬ DUGSO	〃	5	2' 40"
⑭ Ati-Atihan	〃	3	55"
⑮ Suku Ting	〃	4	2' 38"
⑯ Kan dingan	〃	2	2' 45"
⑰ Pandango Su Ilow	〃	2	2' 30"
⑱ Polkabal	〃	4	2' 20"
⑲ Jota Moncadaña	〃	2	2' 40"
⑳ Los Bailes De Ayer	〃	8	3' 30"

Table 2 舞踊の鑑賞構造 (Varimax 回転後)

次元 尺度	次元					h ²
	I	II	III	IV	V	
1 おもしろい	.880	.064	.097	.007	.031	.778
2 新しい	.448	.205	.052	.067	.769	.841
3 美しい	.507	.080	.235	.061	.001	.322
4 楽しい	.736	.081	.401	.014	.059	.713
5 むずかしい	.266	.199	.227	.344	.011	.281
6 抽象的な	.012	.035	.231	.148	.032	.077
7 すぐれている	.641	.157	.125	.271	.013	.525
8 よい	.762	.051	.063	.089	.020	.596
9 効果的な	.640	.147	.001	.220	.056	.483
10 興味深い	.884	.051	.002	.034	.018	.785
11 印象深い	.863	.103	.045	.044	.026	.761
12 明確な	.414	.186	.140	.094	.013	.235
13 視覚的な	.532	.187	.021	.219	.074	.371
14 個性的な	.378	.169	.138	.780	.024	.800
15 うまい	.576	.249	.116	.239	.003	.464
16 独特な	.338	.255	.118	.801	.025	.836
17 現代的な	.361	.184	.088	.021	.869	.927
18 力強い	.184	.851	.052	.001	.080	.767
19 まとまった	.443	.062	.064	.141	.005	.224
20 はげしい	.189	.903	.039	.013	.041	.855
21 動的な	.203	.782	.111	.010	.073	.670
22 日本的な	.318	.082	.020	.059	.334	.223
23 劇的な	.240	.097	.157	.204	.025	.135
24 正統的な	.080	.164	.137	.076	.141	.078
25 見応えがある	.587	.061	.005	.068	.008	.354
26 鮮やかな	.569	.140	.136	.194	.066	.404
27 緻密な	.615	.153	.122	.237	.017	.499
28 変化がある	.550	.306	.018	.285	.131	.495
29 満足できる	.831	.074	.029	.006	.031	.698
30 はなやかな	.433	.097	.250	.128	.048	.277
31 魅力がある	.872	.047	.001	.019	.026	.763
32 特異な	.389	.244	.111	.688	.022	.696
33 軽快な	.269	.403	.473	.048	.043	.462
34 素直な	.208	.098	.328	.043	.107	.174
35 一貫した	.308	.155	.134	.108	.029	.150
36 さわやかな	.415	.014	.723	.029	.005	.696
37 大きい	.307	.554	.041	.184	.026	.437
38 すっきりした	.493	.113	.576	.031	.029	.590
39 明るい	.239	.135	.911	.007	.009	.905
40 叙情的な	.207	.105	.046	.089	.018	.064

固有値 10.376 3.384 2.641 2.471 1.549 20.421

分散(%) 25.940 8.460 6.600 6.170 3.870 51.05

Table 2は、Vavimax 回転後の舞踊の鑑賞構造を示すものである。

各次元に含まれた尺度負荷量を基に、鑑賞構造の分散度を検した結果、表に示してあるように、共通性の総和は20.421で、全分散の 51.05%を説明している。

各次元の尺度について、田中らに基づいて尺度得点の基準± 0.5以上の尺度で、単純構造を示す尺度を拾い、尺度のグルーピングを行なった。それは、Table 3-2に示す通りである。

舞踊鑑賞の単純構造

Table 3-1

順位	次元		I	II	III	IV	V
	尺度						
1	よい	い	.973	—	—	—	—
2	魅力がある		.955	—	—	—	—
3	うまい		.943	—	—	—	—
4	すぐれている		.934	—	—	—	—
5	見応えがある		.934	—	—	—	—
6	満足できる		.901	—	—	—	—
7	緻密な		.892	—	—	—	—
8	興味深い		.868	—	—	—	—
9	美しい		.859	—	—	—	—
10	効果的な		.856	—	—	—	—
11	鮮やかな		.852	—	—	—	—
12	印象深い		.831	—	—	—	—
13	おもしろい		.787	—	—	—	—
14	まとまった		.709	—	—	—	—
15	はなやかな		.656	—	—	—	—
16	一貫した		.621	—	—	—	—
17	明確な		.617	—	—	—	—
18	現代的な		—	.919	—	—	—
19	日本的な		—	-.901	—	—	—
20	動的な		—	.876	—	—	—
21	叙情的な		—	-.876	—	—	—
22	新しい		—	.857	—	—	—
23	はげしい		—	.808	—	—	—
24	力強い		—	.709	—	—	—
25	正統的な		—	-.697	—	—	—
26	視覚的な		—	.519	—	—	—
27	素直な		—	—	.944	—	—
28	さわやかな		—	—	.909	—	—
29	明るい		—	—	.784	—	—
30	劇的な		—	—	-.738	—	—
31	すっきりした		—	—	.645	—	—
32	抽象的な		—	—	—	—	.807

Table 3-2

順位	次元		I	II	III	IV	V
	尺度						
1	興味深い		.884	—	—	—	—
2	おもしろい		.880	—	—	—	—
3	魅力がある		.872	—	—	—	—
4	印象深い		.863	—	—	—	—
5	満足できる		.831	—	—	—	—
6	よい		.762	—	—	—	—
7	楽しい		.736	—	—	—	—
8	すぐれている		.641	—	—	—	—
9	効果的な		.640	—	—	—	—
10	緻密な		.615	—	—	—	—
11	見応えがある		.587	—	—	—	—
12	うまい		.576	—	—	—	—
13	鮮やかな		.569	—	—	—	—
14	変化がある		.550	—	—	—	—
15	視覚的な		.532	—	—	—	—
16	美しい		.507	—	—	—	—
17	はげしい		—	.903	—	—	—
18	力強い		—	.851	—	—	—
19	動的な		—	.782	—	—	—
20	大きい		—	.554	—	—	—
21	明るい		—	—	.911	—	—
22	さわやかな		—	—	.723	—	—
23	すっきりした		—	—	.576	—	—
24	独特な		—	—	—	.801	—
25	個性的な		—	—	—	.780	—
26	特異な		—	—	—	.688	—
27	現代的な		—	—	—	—	.869
28	新しい		—	—	—	—	.769

(2) [40尺度×20作品×49人] 本研究の結果

(1) [40尺度×20作品×48人] 研究Ⅱ (S. 47)の結果

※印はマイナス得点であるので、逆転して用いる。

上記の2表は、Varimax 回転後の各次元における舞踊鑑賞の単純構造を示す。

ここで各次元に含まれた尺度群を検した結果、第Ⅰ次元の尺度群は16種で、`興味深い`、`おもしろい`、`魅力がある`、`印象深い`、`満足できる`、`よい`、`楽しい`、`すぐれている`、`効果的な`、`緻密な`、`見応えがある`、`うまい`、`鮮やかな`、`変化がある`、`視覚的な`、`美しい`の順に示される。

第Ⅱ次元の尺度群は4種で、`はげしい`、`力強い`、`動的な`、`大きい`である。

第Ⅲ次元の尺度群は、3種、`明るい`、`さわやかな`、`すっきりした`となっている。

第Ⅳ次元の尺度群は、`個性的な`、`独特な`、`特異な`の3種で、

第Ⅴ次元の尺度群は、`現代的な`、`新しい`の2種である。

2 鑑賞構造の内容の検討

各次元に含まれた尺度群について検討してみた結果、第Ⅰ次元は評価的内容を示しているとみられる。この尺度群は、みている人の感情を表出し、感情を喚起する快感的性格をもつという解釈ができるだろう。また、そのものに好意をよせているか、よせていないか、態度のプラスかマイナスかを表わし、作品の中での大きな`意味`の部分を含んでいる。作品全体を通してその中に広く全形の`評価`をしているとみたい。

第Ⅱ次元の尺度群は、動的ではげしいということが、力強い、大きいというつながりをもった意味として表わされるだろう。みた印象の強さが力量につながるという、`Dynamics`と解釈できよう。

第Ⅲ次元の尺度群については、全体としての線がすっきりして、ごてごてしないというように、線の流れがスムーズで表現がわかりやすい。踊っている人が、どの程度こなしているか、意図通りに表現しているか、表現したいものとされているものの関係をみているという`Clarity`を示していると思われる。

第Ⅳ次元の尺度群は、作品の表現が独特であり、それが特異で個性的であるという意味を表わして、`ユニークさ`を示していると思われる。

第Ⅴ次元の尺度は2種だが、モダンであるということが、現代的で新しいという`新規性`につながるのではないと思われる。

3 単純構造に含まれない尺度について

ここで、単純構造に含まれない尺度についてみると、第Ⅰ次元においては、`明確な`、.414、`まとまった`、

.443 `はなやかな`、.433 `一貫した`、.308 `叙情的な`、.207 `劇的な`、.240、であった。`日本的な`がⅠ次元に-.318、Ⅴ次元で-.334となっている。

Ⅱ次元では、`正統的な`、.164であった。

Ⅲ次元においては、`抽象的な`、-.231 `素直な`、.328であり、`軽快な`がⅢ次元で.473、Ⅱ次元に.403という得点となっている。

Ⅳ次元では、`むずかしい`、.344であった。

以上の12種の尺度については、±0.5の基準に満たないこと、2つの次元に得点された、いわゆる複雑性を示していることで、結論として本研究では除外して扱っていきたい。

以上の結果、単純構造として得られた次元は、第Ⅰ次元が`Evaluation`、第Ⅱ次元が`Dynamics`、第Ⅲ次元が`Clarity`、第Ⅳ次元が`ユニーク性`、Ⅴ次元はおそらく`新規性`と名づけることができると思われる。

ここで、第Ⅰ～Ⅲ次元までのE. D. C.の3つの意味次元は、研究Ⅱと同様に、東江、田中に基づいて、相互に独立直交関係を維持していることから、ユークリッド幾何学的3次元空間を構成しているとみることができる。

この3次元空間をここでは、`舞踊意味空間`と呼ぶことにする。これは、人間が舞踊作品をその内包的意味のレベルでとらえる際に用いられる心的枠組としての認知または意識の構造である。

4 単純構造の比較

この項では、前回の研究Ⅱ～Ⅰにおいて得られた3つの次元`評価性`、`躍動性`、`明瞭性`と、本研究の結果得られたⅠ～Ⅲまでの3つの次元`Evaluation`、`Dynamics`、`Clarity`の比較をしたい。いわゆる同次元命名下におかれた3つの次元の尺度群についてその内容を検討するものである。

Table 3-1に示してあるのは、前回得られた舞踊鑑賞の単純構造を示している表で、Table 3-2は、本研究の結果得られた単純構造である。ここで、この2表をもとにみることにしよう。(ここで、Table 3-1を前者とし、Table 3-2を後者として、以下このように表現する)

まず、両者のⅠ～Ⅲ次元の尺度内容を見ると、

第Ⅰ次元では、両者に共通に含まれている尺度は13種で、`興味深い`、`おもしろい`、`魅力がある`、`印象深い`、`満足できる`、`よい`、`すぐれている`、`効果的な`、`緻密な`、`見応えがある`、`うまい`、`鮮やかな`、`美しい`となっている。

前者と後者の一致しない尺度をみると、前者に「まった、はなやかな、一貫した、明確な」の4種があり、後者に、「楽しい、変化がある、視覚的な」の3種が含まれている。

第Ⅱ次元の尺度群について、両者の一致した尺度をあげると、「はげしい、力強い、動的な」の3種である。

ここで、一致しない尺度をみると、前者に「現代的な、日本的な、叙情的な、新しい、正統的な、視覚的な」の6種があり、そのうち、「日本的な、叙情的な、正統的な」の3つは、マイナス得点となっている。後者に、「大きい」が含まれていることがあげられる。第Ⅲ次元の尺度群についてみよう。

両者で一致した尺度は、「明るい、さわやかな、すっきりした」の3種である。

一致しない尺度としては、前者に「素直な、劇的な」の2種があった。ただし、「劇的な」はマイナス得点である。

以上の結果から、第Ⅰ～Ⅲ次元までの尺度群の内容に差がみられたが、象徴的特徴としての意味内容に共通的な類似性を示しているといえよう。

〔2〕 作品の比較

先述したように、第Ⅰ次元“Evaluation” 第Ⅱ次元“Dynamics” 第Ⅲ次元“Clarity”の3つの次元は、独立直交関係を維持していることから、この舞踊意味空間の中に各作品を定位すると作品相互の関係が単純な幾何学的関係に還元されて可視化される。東江、田中に基づいて、これらの次元によって規定される空間内に作品を位置づけて、作品相互の関係を検討してみることにする。

1 3次元舞踊意味空間における作品の比較

Table 4の次元別作品の尺度平均値によってFig 1の意味空間において各次元ごとに作品を比較すると、

Evaluation 次元(以下Eとする)では、作品②③フランスの「女王」がもっとも評価され、同じくフランスの作品②⑥「暗闇の囚人」、作品②⑦日本の「機械」が評価で高いとみることができよう。

作品②④ ③のフィリピンの「アティスの踊り」「ドゥグソ」、作品②⑨韓国の「仮面の踊り」が評価が低くなっているとみられる。

Dynamics 次元(以下Dとする)では、作品②⑦韓国の「巫女舞」、フランスの②④「大きな街」②⑥「暗闇の囚人」

が力量感があるとみられ、③④「ドゥグソ」④「アティスの踊り」②⑦「イゴロットの舞踊」の3つのフィリピンの踊りと②①「ジャワの古典舞踊」が力量感の低さを示していると考えられる。

Clarity 次元(以下Dとする)では、日本の②②「機械」フィリピンの②⑧「ポルカとワルツの踊り」が明快さがあるとされ、フィリピンの②⑦「宗教的舞踊」②⑤「出陣の踊り」の順に示される。

作品②⑧「仮面の踊り」が明快さに欠けるということになろう。

次元別作品の尺度平均値

Table 4

作 品	次 元	I	II	III
		E	D	C
②① 愛 国 行 進 曲		4.39	3.49	3.37
②② 機 械		3.07	3.14	2.71
②③ The Queen		2.76	3.28	3.45
②④ A Big Town		3.35	2.93	4.20
②⑤ Sitting on a Bench		3.15	3.58	3.29
②⑥ Prisoners of Darkness.		3.00	2.96	4.85
②⑦ Witch dance		4.05	2.73	3.94
②⑧ Mask dance		4.49	3.53	4.61
②⑨ Sward dance		4.13	3.76	4.25
③⑩ Kang-Kang-suwol-Lae		4.18	4.31	3.80
③⑪ Indonesian dance		3.35	4.61	4.33
③⑫ IGOROT Dance		4.42	4.76	3.78
③⑬ DUGSO		4.58	5.02	4.07
③⑭ Ati-Ati han		4.72	4.80	4.09
③⑮ Sakuting		3.26	3.31	2.94
③⑯ Kandingan		3.71	4.57	4.00
③⑰ Pandango Su Ilow		3.31	3.90	2.92
③⑱ Polkabal		3.43	3.80	2.80
③⑲ Jota Moncadaña		3.23	3.93	3.10
④⑰ Los Bailes De Ayer		3.23	3.93	3.10

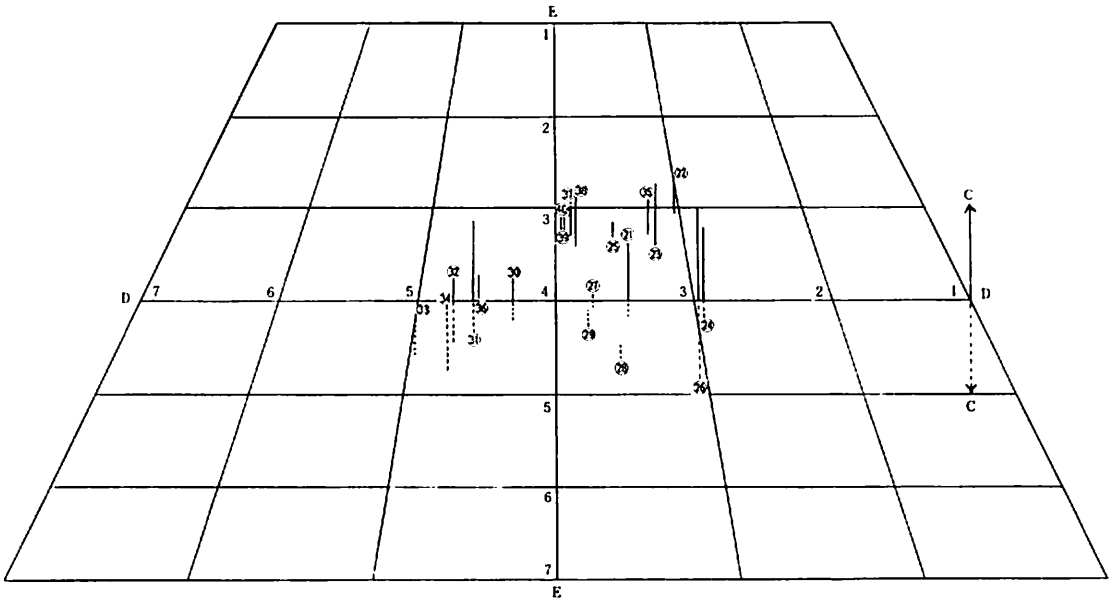


Fig 1 舞踊意味空間における20作品の位置

- ㉑ 爱国行進曲 ㉒ ベンチの二人 ㉓ 剣の舞 ㉔ ドウグソ ㉕ 宗教的舞踊
- ㉖ 機械 ㉗ 暗闇の囚人 ㉘ カングカングスウォーロ ㉙ アティスの舞踊 ㉚ ボルカとワルツの踊り
- ㉛ 女王 ㉜ 巫女舞 ㉝ ジャワの古典舞踊 ㉞ 出陣の踊り ㉟ ジョータ舞踊
- ㊱ 大きな街 ㊲ 仮面の踊り ㊳ イゴロットの舞踊 ㊴ 結婚式の踊り ㊵ 過ぎし年月の踊り

2 「八分円」分析法による作品の比較

特定の作品が三つの直交軸によって仕切られる八つの空間のどこかに分類されるかを知るために、田中に基づ

いて、「八分円」分析法 (Octant Analysis) による分析も可能だと思われる。したがって、Table 4 の次元別作品の平均値によって分類を試みたいと思う。

作品の「八分円」分析

Table 5

Octant I E ⁺ D ⁺ C ⁺	Octant II E ⁺ D ⁺ C ⁻	Octant III E ⁺ D ⁻ C ⁻	Octant IV E ⁺ D ⁻ C ⁺
㉒ 機械 ㉜ 女王 ㉝ 出陣の踊り ㉞ 宗教的舞踊 ㉟ ボルカとワルツの踊り ㊱ ジョータ舞踊 ㊲ 過ぎし年月の踊り	㉑ 大きな街 ㉒ 暗闇の囚人	㉓ ジャワの古典舞踊	—
Octant V E ⁻ D ⁺ C ⁺	Octant VI E ⁻ D ⁺ C ⁻	Octant VII E ⁻ D ⁻ C ⁻	Octant VIII E ⁻ D ⁻ C ⁺
㉑ 爱国行進曲 ㉒ 巫女舞	㉓ 仮面の踊り ㉔ 剣の舞	㉕ ドウグソ ㉖ アティスの舞踊	㉗ カング・カング・スウォーロ ㉘ イゴロットの舞踊

E ⁺ D ⁻ C ⁰
㉙ 結婚式の踊り

◀【例外】

E⁺は「よい」、E⁻は「よくない」、D⁺は「力強い」、D⁻は「弱い」、C⁺は「明るい」、C⁻は「暗い」、という方向を示す。また、C⁰は「明瞭性」の各次元における分極得点が0であることを示す。

20個の作品は、Table 5の八つのOctant のいずれかに分類されている。この表によってみることにしよう。

おそらく作品の評価としては、非常によいと思われる「よくて躍動的で明快である」Octant I に該当するのは、作品⑳「機械」 ㉑「女王」 ㉒「ベンチの二人」 ㉓「出陣の踊り」 ㉔「宗教的舞踊」 ㉕「ポルカとワルツの踊り」 ㉖「ジョタ舞踊」 ㉗「過ぎし年月の踊り」の順に位置している。

これと正反対の「よくない躍動感に乏しく明快さに欠ける」Octant VI には、㉘「ドウグソ」 ㉙「アティスの舞踊」が位置している。理論的には存在しえる「よくて躍動感に乏しく明快でない」Octant IV に該当する

作品は、本結果ではみあたらなかった。

例外としては、「よくて躍動感に乏しく明快でない」には、㉚「結婚式の踊り」をあげることができよう。

3 作品間の距離による比較

東江⁽⁵⁾に基づいて、3次元意味空間に定位される2作品間の距離が幾何学的に演算可能であるので、諸作品の相互関係とベクトルを無視した距離の長短(D値)によって検討することも可能である。ここではD値を求め、D値による作品の分類を試みよう。

作品間の距離 (D値)

Table 6

作品	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40
21																				
22	1.51																			
23	1.64	.80																		
24	1.44	1.53	1.01																	
25	1.24	.72	.51	1.13																
26	2.10	2.14	1.45	.73	1.68															
27	1.00	1.62	1.48	.77	1.40	1.40														
28	1.24	2.40	2.10	1.35	1.88	1.61	1.13													
29	.95	1.97	1.66	1.13	1.38	1.51	1.07	.54												
30	.94	1.94	1.79	1.66	1.36	2.08	1.58	1.16	.71											
31	1.80	2.20	1.69	1.68	1.48	1.76	2.04	1.59	1.45	1.02										
32	1.33	2.36	2.25	2.16	1.80	2.53	2.07	1.48	1.14	.50	1.21									
33	1.69	2.77	2.59	2.42	2.17	2.71	2.35	1.58	1.35	.85	1.32	.40								
34	1.52	2.71	2.56	2.32	2.14	2.63	2.18	1.39	1.20	.78	1.40	.42	.22							
35	1.22	.32	.71	1.31	.45	1.95	1.40	2.08	1.63	1.60	1.90	2.03	2.44	2.38						
36	1.42	2.02	1.69	1.69	1.34	1.95	1.87	1.43	.94	.57	.47	.76	.97	1.03	1.70					
37	1.23	.81	.98	1.60	.50	2.17	1.71	2.09	1.56	1.30	1.57	1.64	2.04	2.04	.58	1.33				
38	1.15	.74	1.06	1.65	.59	2.25	1.68	2.11	1.61	1.35	1.73	1.69	2.10	2.08	.52	1.45	.17			
39	1.26	.89	.87	1.49	.39	2.01	1.68	2.01	1.47	1.24	1.41	1.60	1.98	1.99	.63	1.20	.17	.37		
40	1.26	.89	.87	1.49	.39	2.01	1.68	2.01	1.47	1.24	1.41	1.60	1.98	1.99	.63	1.20	.17	.37	0.00	

20個の作品および作品相互間の距離は、Table 6に示すとおりである。分散は、0.00~2.77である。最も接近した作品は、フィリピンの㉖「ジョタ舞踊」と、同じくフィリピンの㉗「過ぎし年月の踊り」(0.00)でその差がない。

「ジョタ舞踊」は、フィリピンの踊りで、竹を割ったカスタンネットのような手具を打ち鳴らして踊る社交の場での踊りで、スペイン統治時代から最も流行している踊りといわれている。「過ぎし年月の踊り」は、西洋的キャラクターをもつ社交ダンスのステップや型を組み合わせ

(脚注) (5) D値は次の式で求められる。 $D_{il} = \sqrt{\sum d_{il}^2}$ 但し、 D_{il} は i と l の2概念を代表する意味空間における2点間の直線距離を指し、 d_{il} は \geq 概念の同一次元における座標の算術的差を示し、 K 個の次元(ここでは、E. D. C. の3次元)におよんで求められる。

せているもので、ヨーロッパの影響をもつカドリールといわれている。

これら2作品に最も接近しているのは、同じくフィリピンの⑳「宗教的舞踊」(.17)である。また、㉑に接近しているのは、フィリピンの㉒「ポルカとワルツの踊り」(.17)である。

「宗教的舞踊」は、スペイン風の音楽に乗せて踊る、宗教的で恍惚とした味わいをもつ踊りといわれている。後半に火のついたローソクをもち、暗点の中で火の動きをみせる場面がある。「ポルカとワルツの踊り」は、ス

ペイン統治時代に入ってきた踊りといわれ、ポルカとワルツを模した踊りとされている。

逆に、最も遠い距離にあるのは、作品㉓「機械」と㉔「ドゥグソ」(2.77)である。

「機械」は、1942年の作品といわれ、日本の戦時中の学校のダンスで、はぎれのよいリズムをもつ輪唱の歌曲と曲想を生かしたものである。

「ドゥグソ」は、儀式的な舞踊でフィリピンのものである。収穫の喜び、祈願成就の感謝を表わした、舞音楽の踊りで、インドからの影響を受けているといわれている。

D 値による作品の分類

Table 7-a

作 品 \ D 値	0~0.49	0.50~0.99	1.00~1.49	1.50~1.99	2.00~2.49	2.50~2.99
㉑ 愛国行進曲 { E 4.39 D 3.49 C 3.37		29(.95) 30(.94)	24(1.44) 25(1.24) 27(1.00) 28(1.24) 32(1.33) 35(1.22) 36(1.42) 37(1.23) 38(1.15) 39(1.26) 40(1.26)	22(1.51) 23(1.64) 31(1.80) 33(1.69) 34(1.52)	26(2.10)	
㉒ 機 械 { E 3.07 D 3.14 C 2.71	35(.32)	23(.80) 25(.72) 37(.81) 38(.74) 39(.89) 40(.89)		22(1.51) 24(1.53) 27(1.62) 29(1.97) 30(1.94)	26(2.14) 28(2.40) 31(2.20) 32(2.36) 36(2.02)	33(2.77) 34(2.71)
㉓ 女 王 { E 2.76 D 3.28 C 3.45		22(.80) 25(.51) 35(.71) 37(.98) 39(.87) 40(.87)	24(1.01) 26(1.45) 27(1.48) 38(1.06)	21(1.64) 29(1.66) 30(1.79) 31(1.69) 36(1.69)	28(2.10) 32(2.25)	33(2.59) 34(2.56)
㉔ 大 き な 街 { E 3.35 D 2.93 C 4.20		26(.73) 27(.77)	21(1.44) 23(1.01) 25(1.13) 28(1.35) 29(1.13) 35(1.31) 39(1.49) 40(1.49)	22(1.53) 30(1.66) 31(1.68) 36(1.69) 37(1.60) 38(1.65)	32(2.16) 33(2.42) 34(2.32)	
㉕ ベンチの二人 { E 3.15 D 3.58 C 3.29	35(.45) 39(.39) 40(.39)	22(.72) 23(.51) 37(.50) 38(.59)	21(1.24) 24(1.13) 27(1.40) 29(1.38) 30(1.36) 31(1.48) 36(1.34)	26(1.68) 28(1.88) 32(1.80)	33(2.17) 34(2.14)	
㉖ 暗闇の囚人 { E 3.00 D 2.96 C 4.85		24(.73)	23(1.45) 27(1.40)	25(1.68) 28(1.61) 29(1.51) 31(1.76) 35(1.95) 36(1.95)	21(2.10) 22(2.14) 30(2.08) 37(2.17) 38(2.25) 39(2.01) 40(2.01)	32(2.53) 33(2.71) 34(2.63)

Table 7-b

D 値による作品の分類

作品 \ D 値	0~0.49	0.50~0.99	1.00~1.49	1.50~1.99	2.00~2.49	2.50~2.99
⑳ 巫女舞 E 4.05 D 2.73 C 3.94		24 (.77)	21 (1.00) 23 (1.48) 25 (1.40) 26 (1.40) 28 (1.13) 29 (1.07) 35 (1.40)	22 (1.62) 30 (1.58) 36 (1.87) 37 (1.71) 38 (1.68) 39 (1.68) 40 (1.68)	31 (2.04) 32 (2.07) 33 (2.35) 34 (2.18)	
㉑ 仮面の踊り E 4.49 D 3.53 C 4.61		29 (.54)	21 (1.24) 24 (1.35) 27 (1.13) 30 (1.16) 32 (1.48) 34 (1.39) 36 (1.43)	25 (1.88) 26 (1.61) 31 (1.59) 33 (1.58)	22 (2.40) 23 (2.10) 35 (2.08) 37 (2.09) 38 (2.11) 39 (2.01) 40 (2.01)	
㉒ 剣の舞 E 4.13 D 3.76 C 4.25		21 (.95) 28 (.54) 30 (.71) 36 (.94)	24 (1.13) 25 (1.38) 27 (1.07) 31 (1.45) 32 (1.14) 33 (1.35) 34 (1.20) 39 (1.47) 40 (1.47)	22 (1.97) 23 (1.66) 26 (1.51) 35 (1.63) 37 (1.56) 38 (1.61)		
㉓ カング・カング スウォーロ E 4.18 D 4.31 C 3.80		21 (.94) 29 (.71) 32 (.50) 33 (.85) 34 (.78) 36 (.57)	25 (1.36) 28 (1.16) 31 (1.02) 37 (1.30) 38 (1.35) 39 (1.24) 40 (1.24)	22 (1.94) 23 (1.79) 24 (1.66) 27 (1.58) 35 (1.60)	26 (2.08)	
㉔ ジャワの 古典舞踊 E 3.35 D 4.61 C 4.33	36 (.47)		25 (1.48) 29 (1.45) 30 (1.02) 32 (1.21) 33 (1.32) 34 (1.40) 39 (1.41) 40 (1.41)	21 (1.80) 23 (1.69) 24 (1.68) 26 (1.76) 28 (1.59) 35 (1.90) 37 (1.57) 38 (1.73)	22 (2.20) 27 (2.04)	
㉕ イゴロット の舞踊 E 4.42 D 4.76 C 3.78	33 (.40) 34 (.42)	30 (.50) 36 (.76)	21 (1.33) 28 (1.48) 29 (1.14) 31 (1.21)	25 (1.80) 37 (1.64) 38 (1.69) 39 (1.60) 40 (1.60)	22 (2.36) 23 (2.25) 24 (2.16) 27 (2.07) 35 (2.03)	26 (2.53)

D 値による作品の分類

Table 7-c

作品 \ D 値	0~0.49	0.50~0.99	1.00~1.49	1.50~1.99	2.00~2.49	2.50~2.99
⑬ ドウグソ { E 4.58 D 5.02 C 4.07	32(.40) 34(.22)	30(.85) 36(.97)	29(1.35) 31(1.32)	21(1.69) 28(1.58) 39(1.98) 40(1.98)	24(2.42) 25(2.17) 27(2.35) 35(2.44) 37(2.04) 38(2.10)	22(2.77) 23(2.59) 26(2.71)
⑭ アテイスの舞踊 { E 4.72 D 4.80 C 4.09	32(.42) 33(.22)	30(.78)	28(1.39) 29(1.20) 31(1.40) 36(1.03)	21(1.52) 39(1.99) 40(1.99)	24(2.32) 25(2.14) 27(2.18) 35(2.38) 37(2.04) 38(2.08)	22(2.71) 23(2.56) 26(2.63)
⑮ 出陣の踊り { E 3.26 D 3.31 C 2.94	22(.32) 25(.45)	23(.71) 37(.58) 38(.52) 39(.63) 40(.63)	21(1.22) 24(1.31) 27(1.40)	26(1.95) 29(1.63) 30(1.60) 31(1.90) 36(1.70)	28(2.08) 32(2.03) 33(2.44) 34(2.38)	
⑯ 結婚式の踊り { E 3.71 D 4.57 C 4.00	31(.47)	29(.94) 30(.57) 32(.76) 33(.97)	21(1.42) 25(1.34) 28(1.43) 34(1.03) 37(1.33) 38(1.45) 39(1.20) 40(1.20)	23(1.69) 24(1.69) 26(1.95) 27(1.87) 35(1.70)	22(2.02)	
⑰ 宗教的舞踊 { E 3.31 D 3.90 C 2.92	38(.17) 39(.17) 40(.17)	22(.81) 23(.98) 25(.50) 35(.58)	21(1.23) 30(1.30) 36(1.33)	24(1.60) 27(1.71) 29(1.56) 31(1.57) 32(1.64)	26(2.17) 28(2.09) 33(2.04) 34(2.04)	
⑱ ボルカとワルツの踊り { E 3.43 D 3.80 C 2.80	37(.17) 39(.37) 40(.37)	22(.74) 25(.59) 35(.25)	21(1.15) 23(1.06) 30(1.35) 36(1.45)	24(1.65) 27(1.68) 29(1.61) 31(1.73) 32(1.68)	26(2.25) 28(2.11) 33(2.10) 34(2.08)	
⑲ ジョタ舞踊 { E 3.23 D 3.93 C 3.10	25(.39) 37(.17) 38(.37) 40(.00)	22(.89) 23(.87) 35(.63)	21(1.26) 24(1.49) 29(1.47) 30(1.24) 31(1.41) 36(1.20)	27(1.68) 32(1.60) 33(1.98) 34(1.99)	26(2.01) 28(2.01)	
⑳ 過ぎし年月の踊り { E 3.23 D 3.93 C 3.10	25(.39) 37(.17) 38(.37) 39(.00)	22(.89) 23(.87) 35(.63)	21(1.26) 24(1.49) 29(1.47) 30(1.24) 31(1.41) 36(1.20)	27(1.68) 32(1.60) 33(1.98) 34(1.99)	26(2.01) 28(2.01)	

注) 各作品名の下に記入された数字は、意味空間における当該作品の位置を示すもので、それぞれⅠ、Ⅱ、Ⅲ次元の座標を表す。但し、4は中性または中央を意味し、1に近づく程「よりよい」「より魅力がある」ことを、逆に、4を越えるほど「よくない」「より魅力がない」ことを意味する。

ここで、Table 7-aからTable 7-cまでの、D値による作品の分類によって、作品相互の関係を距離の長短によって検討しよう。

作品①「愛国行進曲」は、前述の「機械」と同様に日本の戦時中のダンスの一つで、愛国の精神を歌った歌詞、跳躍的な動きによって成立し、もっぱら身体練成の傾向をもつ作品とされている。この作品に非常に接近し最も遠距離にある作品はみあたらない。⑩「Kang-Kang-su-wol-Lae」(.94) ⑳「剣の舞」(.95)の2つの韓国の踊りが近い。

「Kang-Kang-su-wol-Lae」は、朝鮮の南部で盛んな少女たちの踊りである。初秋の満月の夜、村の少女たちが集まりうたいながら豊作を祝う踊りである。

遠い距離にある作品は、⑫「暗闇の囚人」(.210)である。これは、マイム的動きの表現でフランスのもの。2人の囚人の心のかっとうを描いて、釈放への期待と苦悩、その心の混沌としたものを象徴している。

作品⑭「機械」に最も接近しているのは、⑮「出陣の踊り」(.32)である。これは、フィリピンのもので、中国の剣の踊りの影響をうけて模したものとされる。両手にスティックをもち、打ち合いながら楽しそうに演じられた。逆に遠距離にあるのは、先述の⑬「ドウゴン」と⑯「アティアテイハン」(2.71)のフィリピンの2作品である。⑮は、フィリピンのAkulan地方のAtisと呼ばれる原住民の踊りで、黒い面をかぶり、スティック風なものを手に打ちながら踊る。黒い人種の誇りを歌ったうたとともに踊られる。

作品⑰「女王」に最も接近した作品はみあたらない。逆に最も遠距離にあるのは、⑲「ドウゴン」(2.59)と⑱「アティアテイハン」(2.56)である。

「女王」は、チエスの2人の女王の偽善的な礼儀正しさのかけにひそむ挑戦的な心を巧みに表現したマイムの表現である。

作品⑲「大きな街」に最も接近した作品および最も遠距離にある作品はみあたらないが、⑫「暗闇の囚人」(.73) ⑳「巫女舞」(.77)が近い。「巫女舞」は、韓国の舞踊で、迷信的で、鬼を追い払い家庭の幸福を願って福の神を呼びよせるために演じられるもので、幸福や平和への祈り、悪魔払いの踊りである。

遠い距離の作品では、⑬「ドウゴン」(2.42) ⑱「アティアテイハン」(2.32) ⑳「イゴロットの舞踊」(2.16)である。「イゴロットの舞踊」は、フィリピンの踊りで、宗教的行動、エネルギーの発散、鳥の模倣などの表現で、フィリピン北部の原住民の踊りである。

作品⑲「ベンチの二人」に最も接近しているのは、⑲「ジョタ舞踊」(.39) ⑳「過ぎし年月の踊り」(.39) ⑳

「出陣の踊り」(.45)である。「ベンチの二人」は、だまりこくって、ゆううつそうな人、幸福で社交的な人、ベンチに座っている2人は理解し合えるだろうか…と表情たくみに表現する、無音楽のフランスのマイム的表現である。

作品⑲「暗闇の囚人」に最も接近しているのはみあたらないが、前述の⑱(.73)が近い。遠い距離にあるのは、⑬(.2.71) ⑭(2.63) ⑮(2.53)である。

作品⑲「巫女舞」に最も近いのはないが、⑱(.77)が近い。最も遠い作品もない。⑲「ドウゴン」(2.35) ⑳「アティアテイハン」(2.18)が遠い位置にある。

作品⑲「仮面の踊り」に最も近い作品はみあたらない。近い距離に⑲「剣の舞」(.54)がある。最も遠い距離もみあたらないが、⑲「機械」(2.40) ⑳「ボルカとワルツの踊り」(2.11) ㉑「女王」(2.10)が遠距離といえる。

「仮面の踊り」は、仮面をつけて踊る韓国の踊りで、もともとYanbanの上流階級の混乱ぶりを皮肉り風刺的に表現したものとされる。

作品⑲「剣の舞」に最も接近した作品はない。近いものに⑲「仮面の踊り」(.54) ⑳「カン・カン」(.71) ㉑「カンディンガン」(.94) ㉒「愛国行進曲」(.94)がある。

「カンディンガン」はフィリピンの踊りでイスラム教徒の結婚式の踊りである。テンポ感のあるかろやかな音楽に合わせて踊るもので、アラビアの影響をうけているといわれる。

作品⑲「Kang-Kang-Su-wol-Lae」に最も接近し、最も遠距離にある作品はみあたらない。より接近しているものに⑲「イゴロットの舞踊」(.50)があり、遠距離にあるものに⑲「暗闇の囚人」(2.08)がある。

作品⑲「ジャワの古典舞踊」に最も接近しているのは⑲「結婚式の踊り」(.47)である。最も遠距離の作品はないが、遠くにあるものに⑲「機械」(2.20)と⑲「巫女舞」(2.04)がある。

「ジャワの古典舞踊」は、ラーマーヤナ神話の物語より取材した踊りといわれ、1人の騎士の悲恋物語を表現したものである。

作品⑲「イゴロットの舞踊」に最も接近しているのは、⑲(.40) ⑲(.42)であり、最も遠いものに⑲(2.53)がある。

作品⑲「ドウゴン」に最も接近しているのは、⑲(.22) ⑲(.40)で、最も遠い距離にあるのは、⑲(2.77) ⑲(2.71) ⑲(2.59)の3作品である。

作品⑲「アティスの舞踊」に最も接近しているのは、⑲(.22) ⑲(.42)逆に遠距離にあるものは、⑲(2.71) ⑲(2.63) ⑲(2.56)がある。

作品③「出陣の踊り」と最も接近しているのは、② (.32) ⑤ (.45) 最も遠距離のはないが、③ (2.44) ④ (2.38) ⑧ (2.08) ⑫ (2.03) が距離が離れている。
 作品⑩「結婚式の踊り」に最も近いものは、先述の④「ジャワの踊り」(.47) で最も遠い距離にある作品はなく、遠くに位置しているものに②「機械」(2.02) となっている。

次に、20個の作品を任意に4つのグループに分け、各グループの2作品を底辺とした、作品相互の距離をグラフィックにして示したのが、Fig 3-a ~ Fig 3-d の図である。

Fig 3-a の6作品の距離は、遠距離を示し、Fig 3-d の4作品の距離は、近距離を示している。

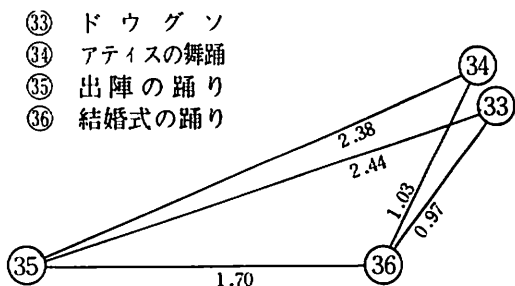


Fig 3-c

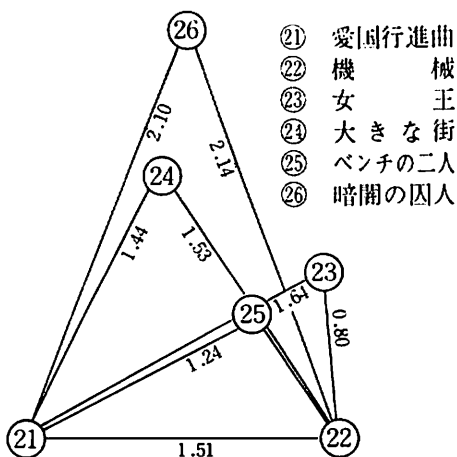


Fig 3-a

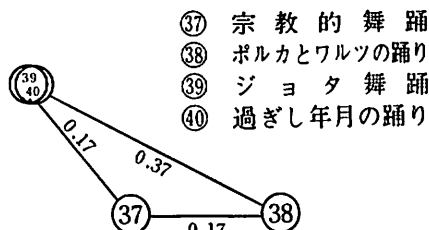


Fig 3-d

D 値による作品間の距離

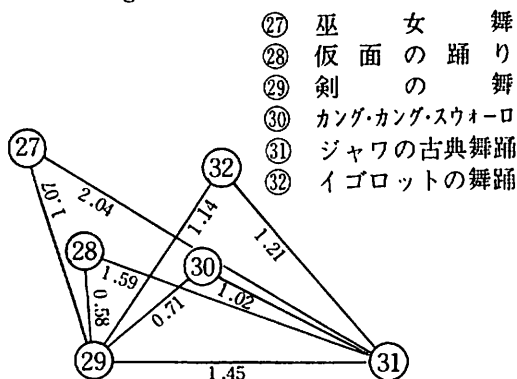


Fig 3-b

D 値による作品間の距離

4 作品のセマンティック・プロフィール

各作品のプロフィールをみることは、舞踊研究の方法論の一つとして必要な事項であると認められるので、ここに提示することにした。但し、本稿では尺度と作品との関係についての具体的な検討は割愛する。Table 8の尺度別作品の平均値をもとにした、各作品別のセマンティック・プロフィールは、Fig 4-a ~ Fig 4-e に示す通りである。評定尺度は、7段階であるので、評定の範囲は1~7点で、1は非常に「おもしろい」を指し7は非常に「つまらない」を表わす。

金城光子 舞踊鑑賞構造に関する研究 (II-2)

Table 8

尺度別作品の平均値と標準偏差

次元	作品	尺度																				
		21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40	
評価性 (E)	おもろい	M	4.00	2.85	2.16	3.51	2.75	3.14	4.55	4.89	4.59	4.55	3.53	4.34	4.91	4.57	3.00	3.98	2.83	3.44	3.16	3.16
		SD	1.53	1.21	1.26	1.52	1.51	1.51	1.61	1.38	1.33	1.23	1.35	1.46	1.20	1.85	1.17	1.45	1.37	1.12	1.11	1.11
	つまらない	M	4.26	3.42	3.93	3.95	3.89	4.02	3.98	4.42	3.89	3.53	3.04	3.91	3.81	4.87	3.28	3.14	2.95	3.02	2.85	2.85
		SD	1.12	0.96	1.01	0.83	0.61	0.97	1.05	0.75	0.95	1.01	0.88	0.87	0.82	0.94	0.83	0.80	0.94	0.79	0.94	0.94
	楽しい	M	4.04	2.71	2.40	3.83	2.73	3.95	4.42	4.98	4.69	4.18	4.06	4.28	4.87	4.22	2.81	4.20	2.87	2.65	3.04	3.04
		SD	1.51	1.32	1.06	1.25	1.02	1.24	1.35	1.20	1.32	1.28	1.31	1.51	1.11	1.76	1.00	1.30	1.39	0.84	0.85	0.85
	楽しくない	M	4.38	3.51	2.61	3.12	3.22	2.57	3.52	3.95	3.67	4.06	2.98	4.38	4.26	4.51	3.32	3.30	3.24	3.59	3.42	3.42
		SD	1.25	1.23	1.19	1.04	0.90	1.01	1.01	0.72	0.93	0.86	1.00	0.82	0.89	1.03	0.99	0.95	1.13	0.85	0.94	0.94
	方っている	M	4.26	3.08	3.06	3.44	3.12	2.89	3.73	4.44	3.77	3.85	3.20	3.98	4.34	4.36	2.91	3.42	2.95	3.12	2.98	2.98
		SD	1.27	1.20	1.13	0.90	0.96	1.01	0.85	0.90	0.88	1.03	1.06	0.93	0.91	1.08	0.77	0.85	0.85	0.77	0.76	0.76
	よくない	M	4.06	3.24	3.04	3.08	3.08	2.67	3.73	4.16	3.73	3.98	3.34	4.12	4.30	4.18	3.18	3.42	3.04	3.40	3.10	3.10
		SD	1.42	1.23	1.04	0.85	0.94	1.09	1.00	0.95	0.87	1.02	0.82	1.08	0.90	1.45	0.77	0.94	1.00	0.83	1.01	1.01
	効果的な	M	4.65	3.44	2.59	3.42	3.22	3.06	4.55	4.98	4.63	4.53	3.46	4.77	4.95	5.06	3.34	4.02	3.24	3.59	3.40	3.40
		SD	1.51	1.27	1.24	1.54	1.35	1.27	1.35	1.27	1.32	1.10	1.32	1.22	1.30	1.63	1.19	1.36	1.32	0.94	1.22	1.22
	効果でない	M	4.08	3.24	2.26	2.67	2.69	2.69	3.40	3.81	3.26	3.51	3.18	3.98	3.75	4.10	3.00	3.34	2.79	3.12	2.98	2.95
		SD	1.56	1.30	0.94	1.05	1.03	1.09	1.10	1.00	0.89	1.12	1.08	0.89	1.22	1.32	0.85	0.82	0.94	0.59	0.82	0.80
	興味深い	M	3.32	2.77	1.83	2.28	2.16	1.93	3.04	3.69	3.22	3.85	2.65	3.89	4.18	4.44	3.06	3.22	2.89	3.32	3.06	3.06
		SD	1.23	1.01	0.95	0.90	0.84	0.84	1.17	1.03	0.97	1.08	0.95	0.83	1.04	0.99	0.99	0.88	0.95	0.91	0.86	0.86
	印象深い	M	4.44	3.89	3.10	3.79	3.42	3.20	4.10	4.57	4.14	4.22	3.51	4.71	4.81	4.98	3.53	3.98	3.24	3.44	3.38	3.38
		SD	1.61	1.71	1.71	1.60	1.55	1.64	1.37	1.32	1.38	1.37	1.43	1.16	1.22	1.04	1.45	1.30	1.31	0.94	1.06	1.06
印象がうすい	M	4.79	3.30	3.22	3.67	3.57	3.55	3.73	4.08	4.10	3.98	3.12	4.55	4.26	5.00	3.10	3.46	3.18	3.02	2.89	2.89	
	SD	1.79	1.29	1.16	1.25	1.08	1.38	1.15	0.94	0.99	1.04	0.96	1.07	1.06	1.06	1.03	1.07	1.06	0.74	0.81	0.81	
鮮やかな	M	4.57	3.06	2.26	2.95	3.10	2.40	4.08	4.49	4.14	4.42	2.85	4.57	4.61	5.26	3.46	3.61	3.67	3.95	3.55	3.55	
	SD	1.75	1.46	1.12	1.14	1.11	1.12	1.06	0.86	0.85	0.80	1.08	0.85	1.04	0.94	1.14	1.10	1.11	0.85	1.07	1.07	
緻密な	M	5.42	3.46	3.00	2.91	3.22	2.89	4.16	4.61	4.71	4.49	4.02	5.14	5.26	5.42	4.02	4.34	3.49	4.18	3.46	3.46	
	SD	1.32	1.47	1.26	1.20	1.31	1.24	1.16	0.98	0.96	1.32	1.18	0.96	0.85	1.37	1.23	1.11	1.47	1.08	1.21	1.21	
変化がある	M	5.36	3.73	3.38	4.10	3.69	3.40	4.73	5.10	4.83	4.79	3.79	4.87	5.38	5.28	3.55	4.14	3.44	3.83	3.75	3.75	
	SD	1.35	1.39	1.22	1.40	1.19	1.33	1.25	1.01	1.21	1.12	1.37	0.94	0.92	1.24	1.10	1.34	1.07	1.01	1.09	1.09	
変化がない	M	4.49	3.57	2.79	3.53	3.18	2.98	4.42	4.75	4.30	4.38	3.42	4.57	4.79	4.65	3.24	3.77	3.14	3.40	3.12	3.12	
	SD	1.43	1.38	1.26	1.18	1.06	1.31	1.17	1.11	1.12	1.14	1.30	1.01	1.17	1.20	1.07	0.99	1.08	0.90	0.98	0.98	
力強い	M	3.02	3.40	3.40	3.24	3.91	3.00	2.87	3.63	3.55	4.73	4.59	4.98	5.12	4.98	3.51	4.63	4.22	4.28	4.30	4.30	
	SD	1.34	1.24	0.90	1.23	0.77	1.27	0.91	1.22	1.19	1.00	1.15	0.79	1.15	1.22	0.90	1.04	1.20	0.99	0.99	0.99	
力がない	M	3.75	2.95	3.44	2.93	3.77	2.85	2.79	3.67	4.20	4.44	5.14	5.18	5.42	5.04	3.53	4.95	4.34	4.18	4.44	4.44	
	SD	1.62	1.21	1.14	1.37	0.90	1.29	1.08	1.20	1.04	0.97	1.05	0.74	0.78	1.10	1.03	1.06	1.00	1.00	0.97	0.97	
動的な	M	3.20	2.46	2.75	2.24	3.04	2.87	2.26	3.22	3.59	3.89	4.65	4.34	4.77	4.38	2.85	4.59	3.61	3.14	3.40	3.40	
	SD	1.76	1.19	1.28	1.18	1.00	1.56	1.04	1.20	1.08	1.12	1.13	1.08	1.14	1.17	0.85	1.10	1.38	0.94	1.00	1.00	
静的な	M	4.00	3.77	3.55	3.34	3.63	3.12	3.02	3.63	3.71	4.18	4.06	4.55	4.77	4.83	3.36	4.14	3.44	3.63	3.61	3.61	
	SD	1.62	1.37	1.31	1.17	0.91	1.36	1.15	1.06	0.99	1.17	1.18	0.96	0.88	1.07	1.22	0.80	1.16	1.55	1.20	1.20	
大きい	M	3.38	2.81	3.81	4.20	3.44	4.69	4.10	4.67	4.06	3.57	4.18	3.63	3.91	4.06	2.98	3.83	2.93	2.77	3.02	3.02	
	SD	1.39	1.25	1.08	0.96	0.97	1.09	1.23	1.07	1.05	1.24	0.96	1.04	0.92	1.18	0.79	0.93	1.09	0.67	0.86	0.86	
小さい	M	3.57	2.83	3.71	4.20	3.34	4.46	4.22	4.73	4.55	4.22	4.26	4.16	4.38	4.36	3.16	4.12	3.08	3.02	3.32	3.32	
	SD	1.30	1.29	1.05	0.92	0.89	1.27	1.11	1.08	1.03	1.21	1.06	1.39	1.19	1.50	1.09	1.00	1.08	0.93	0.81	0.81	
明瞭な	M	3.18	2.49	2.85	4.22	3.10	5.42	3.51	4.44	4.14	3.61	4.55	3.57	3.93	3.85	2.69	4.06	2.75	2.61	2.98	2.98	
	SD	1.24	1.01	1.08	1.21	0.95	1.01	1.12	1.14	1.06	1.04	1.01	1.05	1.11	1.10	0.73	0.93	1.13	0.92	0.76	0.76	
明瞭でない	M	3.18	2.49	2.85	4.22	3.10	5.42	3.51	4.44	4.14	3.61	4.55	3.57	3.93	3.85	2.69	4.06	2.75	2.61	2.98	2.98	
	SD	1.24	1.01	1.08	1.21	0.95	1.01	1.12	1.14	1.06	1.04	1.01	1.05	1.11	1.10	0.73	0.93	1.13	0.92	0.76	0.76	
はっきりした	M	3.18	2.49	2.85	4.22	3.10	5.42	3.51	4.44	4.14	3.61	4.55	3.57	3.93	3.85	2.69	4.06	2.75	2.61	2.98	2.98	
	SD	1.24	1.01	1.08	1.21	0.95	1.01	1.12	1.14	1.06	1.04	1.01	1.05	1.11	1.10	0.73	0.93	1.13	0.92	0.76	0.76	
はっきりしない	M	3.18	2.49	2.85	4.22	3.10	5.42	3.51	4.44	4.14	3.61	4.55	3.57	3.93	3.85	2.69	4.06	2.75	2.61	2.98	2.98	
	SD	1.24	1.01	1.08	1.21	0.95	1.01	1.12	1.14	1.06	1.04	1.01	1.05	1.11	1.10	0.73	0.93	1.13	0.92	0.76	0.76	
明瞭でない	M	3.18	2.49	2.85	4.22	3.10	5.42	3.51	4.44	4.14	3.61	4.55	3.57	3.93	3.85	2.69	4.06	2.75	2.61	2.98	2.98	
	SD	1.24	1.01	1.08	1.21	0.95	1.01	1.12	1.14	1.06	1.04	1.01	1.05	1.11	1.10	0.73	0.93	1.13	0.92	0.76	0.76	
暗い	M	3.18	2.49	2.85	4.22	3.10	5.42	3.51	4.44	4.14	3.61	4.55	3.57	3.93	3.85	2.69	4.06	2.75	2.61	2.98	2.98	
	SD	1.24	1.01	1.08	1.21	0.95	1.01	1.12	1.14	1.06	1.04	1.01	1.05	1.11	1.10	0.73	0.93	1.13	0.92	0.76	0.76	

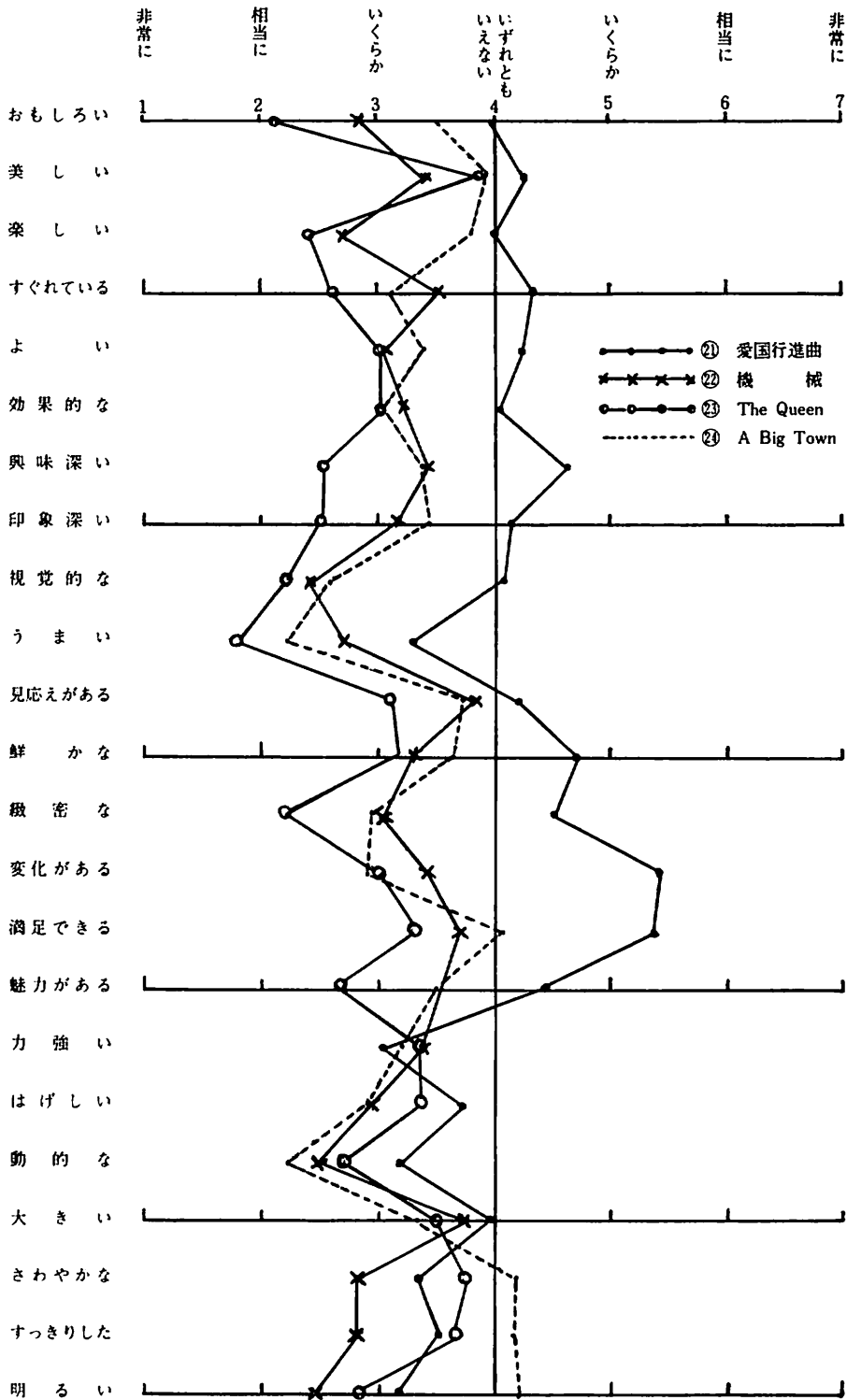


Fig 4-a 作品のセマンティック・プロフィール

金城光子 舞踊鑑賞構造に関する研究 (II-2)

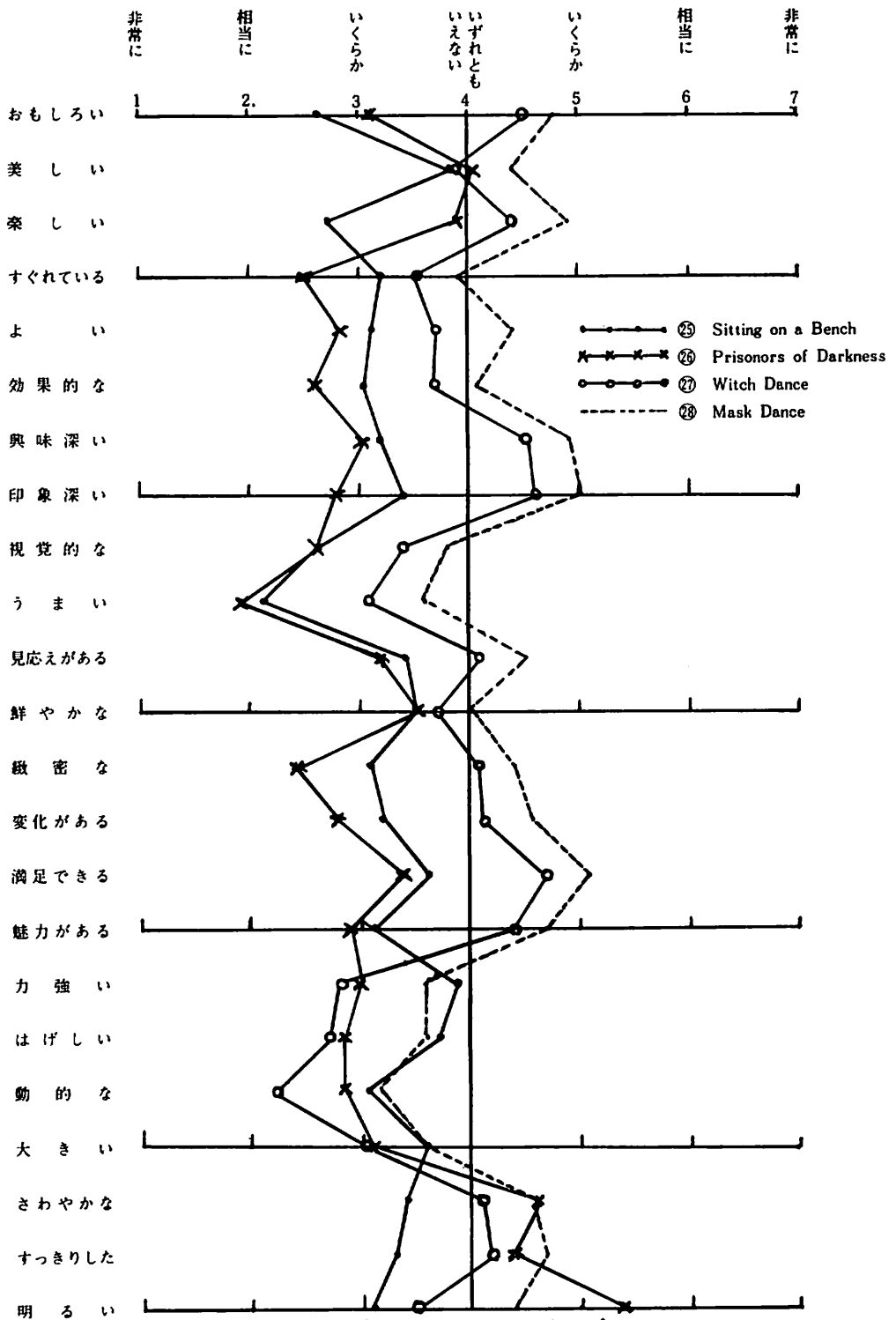


Fig 4-b 作品のセマンティック・プロフィール

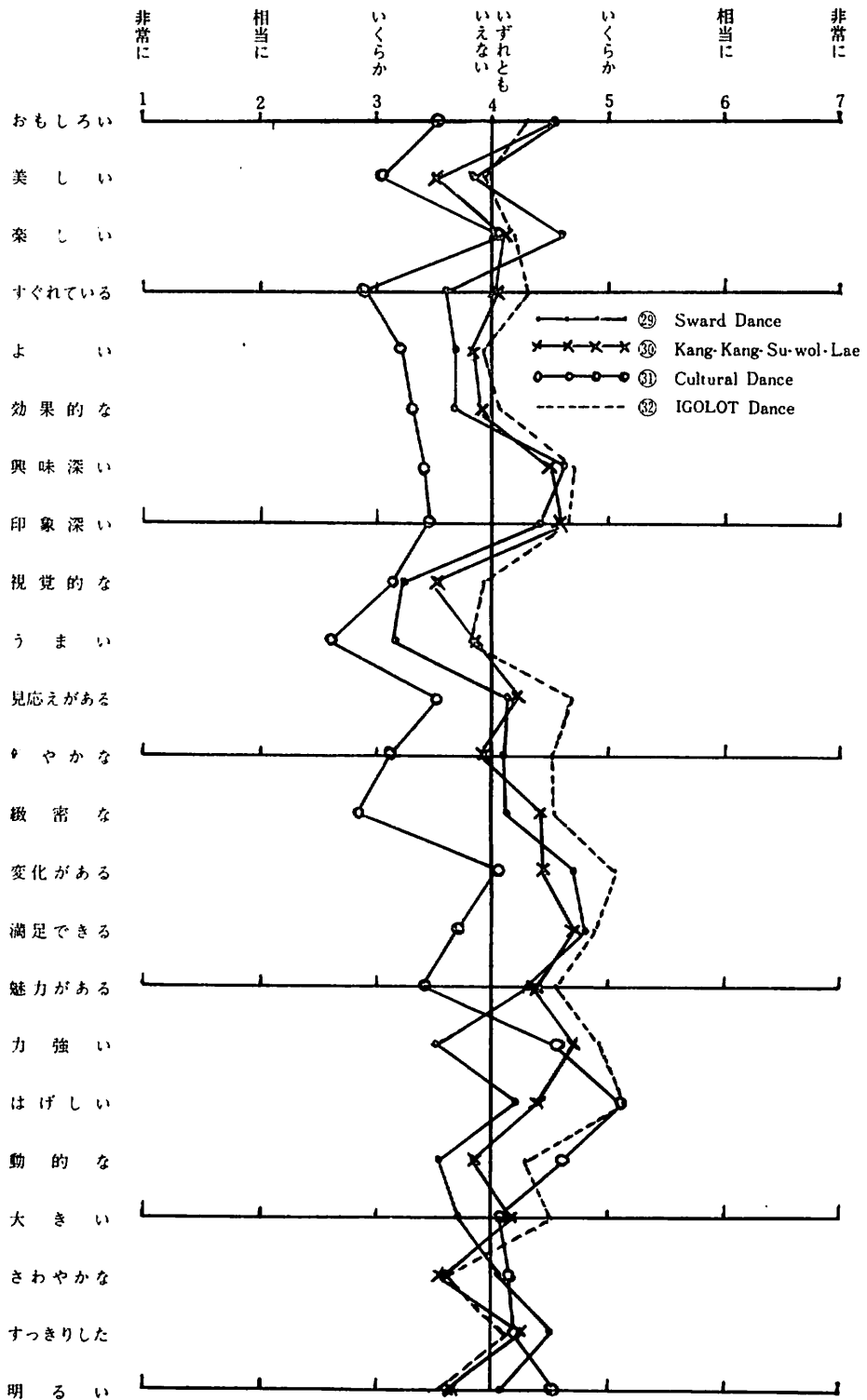


Fig 4-c 作品のセマンティック・プロフィール

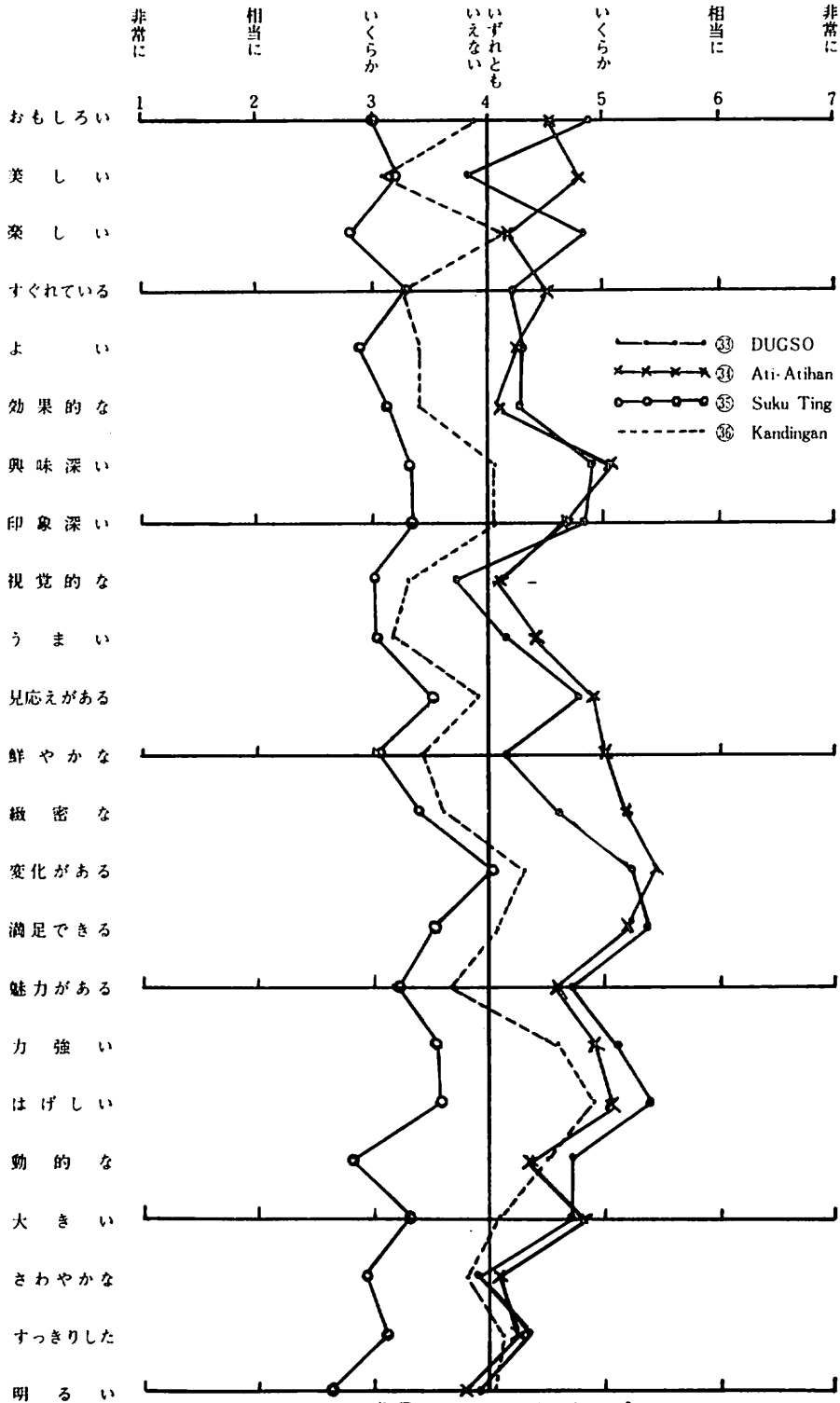


Fig 4-d 作品のセマンティック・プロフィール

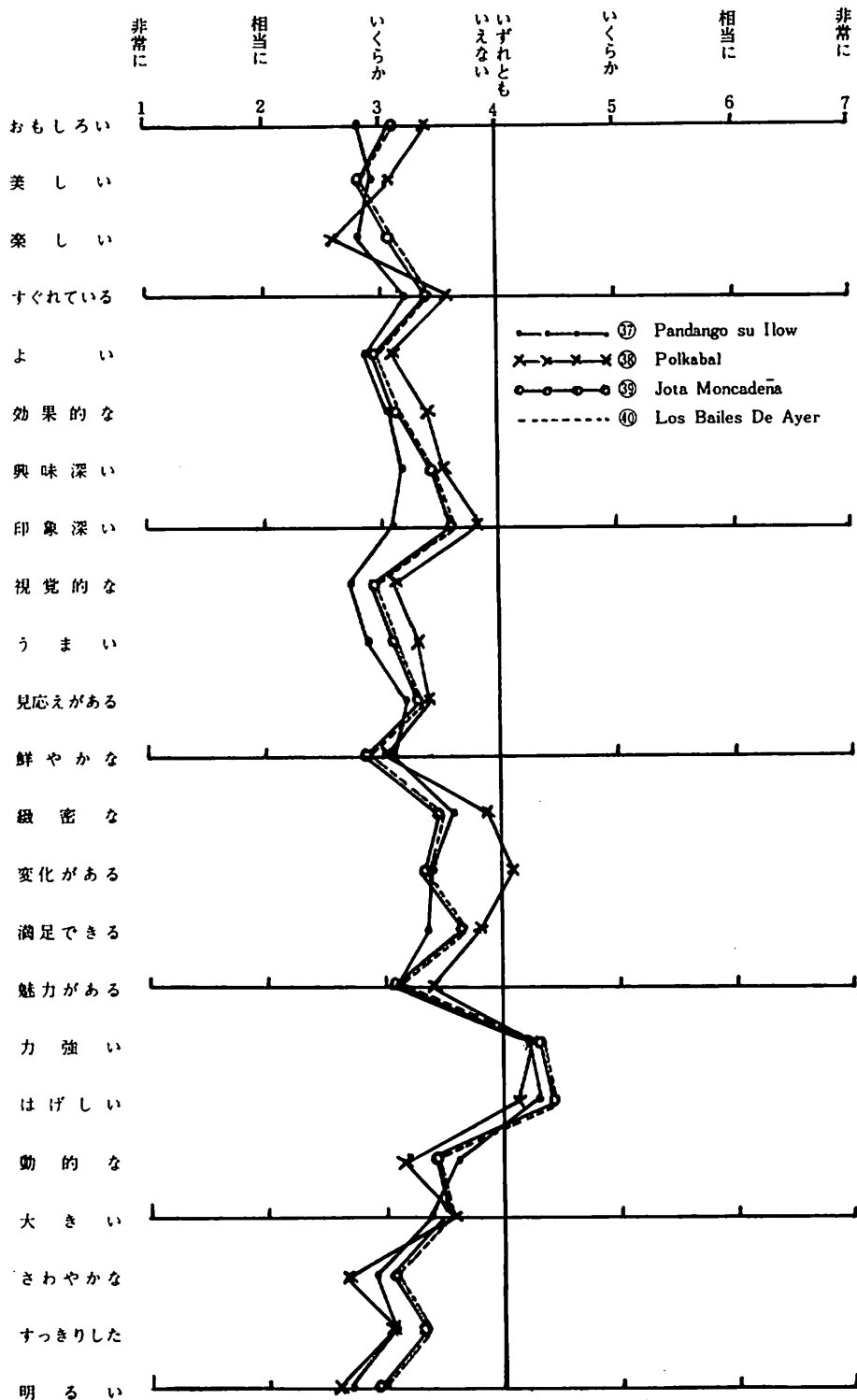


Fig 4-e 作品のセマンティック・プロフィール

Ⅳ ま と め


お わ り に

舞踊の“美”を規定する因子は何かについて、舞踊という概念の分析を試み、舞踊が如何なる審美的印象として受けとめられたかをとらえ、鑑賞の側面から精神現象を数量的に表現し、構造分析的に解明するために、Osgoodの意味微分法を適用し、芝、田中、東江の方法によって舞踊の鑑賞構造の解明を試みた。

先回、研究Ⅰ、Ⅱと同一尺度(40個)を用いて、20個の作品を鑑賞対象として、7段階法により49人の女子学生に評定させた。評定後のデータは、作品別に尺度の平均値・標準偏差を求めた。この平均値を各作品の特徴を表わすものとしてとらえ、20個の作品をプールにして、尺度の平均値・標準偏差を求め、尺度間相関行列を求め、これを基に Varimax 法による尺度の grouping を行なった。その結果、第Ⅰ～第Ⅴ次元まで求められた。共通性の総和は20.421で全分散の51.05%を占め、先回に比して低い結果を示した。各次元に含まれた尺度得点の基準±0.5によって尺度をグループ化し、単純構造を求めた。その結果、Ⅰ次元に16種、Ⅱ次元が4種、Ⅲ次元が3種、Ⅳ次元が3種、Ⅴ次元が2種求められた。これらの尺度群の内容を検した結果、Ⅰ次元は、“Evaluation” Ⅱ次元は、“Dynamics” Ⅲ次元は、“Clarity” Ⅳ次元は、“Uniqueness”(ユニークさ)、Ⅴ次元は、“Freshness”を示していると解された。このⅠ～Ⅲ次元までの尺度群は、先回の研究Ⅱの結果と比較検討した結果、共通した尺度は、Ⅰ次元が13種で、¹興味深い、²おもしろい、³魅力がある、⁴印象深い、⁵満足できる、⁶よい、⁷すぐれている、⁸効果的な、⁹緻密な、¹⁰見応えがある、¹¹うまい、¹²鮮やかな、¹³美しい、であった。Ⅱ次元では、¹⁴はげしい、¹⁵力強い、¹⁶動的な、の3種、Ⅲ次元は、¹⁷明るい、¹⁸さわやかな、¹⁹すっきりした、であった。

本研究でえられた単純構造を示す3つの次元は、Evaluation, Dynamics, Clarity, 次元として先回と同命名に設定した。この3つの次元は、相互に独立直交関係を維持していることから、田中、東江らに基づいて、3つの意味空間の中に各作品を定位して比較した。また「八分円」分析法によって作品の分類を試みた。さらに2作品間の距離の長短(D値)によって作品相互の距離を検した。最後に各作品の尺度平均値によってセマンティック・プロフィールを作成した。

意味微分法(Semantic Differential method)は、内包的意味・情緒的意味の測定を目的とした測定法、²⁰こ意味の客観的測定法で、米国のC. E. Osgoodによってとば、の提案されたものといわれ、広範囲に(心理学・言語学など)利用されている研究方法である。

これは、普通、よい  悪いの7段階尺度が用いられる。いわゆる、概念が明確にとらえたい場合、それに対する大体の印象を聴取することによって、概念についての意味内容を測定しようとするものである。

本研究は、このOsgoodの方法を適用して、尺度表を作成し舞踊作品を鑑賞させ、評定させて、そのデータを基に Varimax 回転を施し、尺度の Grouping を行ない、鑑賞構造をとらえ、意味次元を設定したあと、3つの意味空間における作品相互の関係をみるという過程を経てきた、心理学実験方法を適用した、舞踊研究の方法論の一つである。

ところでこの種の研究は、概念(作品)と尺度(評定語)被験者の3者の交互作用によって成立するといわれる。

そこで本研究に用いた、この3者について検討してみたい。

まず概念としての作品は、人間が何かの内包的、情緒的意味を感じる刺激としての感覚概念という意味で、その概念たりうる資格を有していると思われる。

尺度については、任意に構成したもの(主観的)でなく、あらかじめとらえた舞踊の鑑賞のことばで、頻数の高いものを用いたという点で、客観性があるとみられる。

被験者については、大学女子という枠内のもので、これは、他の専門家等との比較検討の余地を残していると思われる。

しかし、2回にわたっての実験結果によって得られた舞踊因子(次元)、“Evaluation” “Dynamics” “Clarity” “Uniqueness” “Freshness”の5種は、おそらく舞踊の“意味”と“美的”形成要因として大切な要素・因子であると思われる。

しかしながら、舞踊作品という概念の選定、尺度の構成、被験者の3者については、検討すべき事項を含んでいると思われる。これらのことについては、今後の検討課題としたい。

付 記

稿を終えるに当って、多大なる指導をくださった本学
法文学部心理学東江平之教授をはじめ、他面からの協力を
いただいた本学部教育学島嶽哲教授、本学科の玉城洋
子、金城美樹子、比嘉初子さんに対し、紙上をもって厚
くお礼申し上げます。

※20個の舞踊作品（Filmより）は、本紀要、鑑賞構造の
研究〔I-2〕の末尾に示した通りである。

※本研究は、S.48.第22回九州体育学会、第24回日本体
育学会で口頭発表した。

文 献

- (1) 東江平之 S.D法による大学生の自己観と環境観
人文社会科学研究第4号(1965)
- (2) 東江平之 概念間距離とその変遷 人文社会科学研
究第9号(1971)
- (3) 新垣博子 文沢義永 中学生の食物に対する嗜好度
の地域差 琉球大学教育学部紀要第14集(1971)
- (4) R・アルンハイム 波多野完治 関計夫訳 美と創
造の心理学上 美術出版社(1970)
- (5) 梅本堯夫 音楽心理学 誠信書房(1966)
- (6) メルロ＝ポンティ 滝浦静雄 木田元訳 行動の構
造 みすず書房(1971)
- (7) S.K.ランガー 天野、池上、近藤 貴志訳、シ
ンボルの哲学 岩波書房(1971)
- (8) S.K.ランガー 大久保、長田、塚本 柳田訳、
感情と形式I(1970)
- (9) S.K.ランガー 大久保、長田、塚本 柳田訳、
感情と形式II(1971)
- (10) S.K.ランガー 池上、矢野訳、芸術とは何か
岩波書店(1971)
- (11) Osgood C. E. : The Measurement of Meaning,
Urbana. : University of Illinois Press. (1958)
- (12) 北川敏男 喜安善市 情報処理I 共立出版株式会
社(1972)
- (13) 岸野雄三他 現代保健体育学大系 序説運動学 大
修館書店(1971)
- (14) 金城光子 舞踊の鑑賞語・評価語一覧 琉球大学教
育学部紀要第16集(第2部) 1972
- (15) 金城光子 舞踊の鑑賞構造に関する研究 一意味微
分法による一 日本体育学会第24回大会号P. 289
(1973)
- (16) 金城光子・大城昭子 舞踊の鑑賞構造に関する研究
I・II 琉球大学教育学部紀要第16集第2部(1972)
- (17) 邦正美 芸術舞踊の研究 富山房(1942)
- (18) 邦正美 舞踊の文化史 岩波新書(1968)
- (19) 芝祐順 行動科学における相関分析法 東京大学出
版会(1967)
- (20) 芝祐順 因子分析法 東京大学出版会(1972)
- (21) C. E. オズグッド 吉田正昭訳 計量心理学
リーディングス 誠信書房(1970)
- (22) J. P. ギルホード 秋重義治訳 精神測定法
培風館(1972)
- (23) J. E. ハリソン 佐々木理訳 古代芸術と祭式
筑摩書房(1966)
- (24) 高木貞二 心理学研究法 岩波書店(1970)
- (25) 田仲靖政 記号行動論 一意味の科学一 共立出版
株式会社(1970)
- (26) 松本千代栄 舞踊美の探究 大修館書店(1957)
- (27) C. K. オグデン; I. A. リチャーズ 石橋幸太
郎訳 意味の意味 新泉社(1971)